

平成30年度
議会報告会
(『議会だより』抜粋資料)

都留市議会

市長の所信表明

おもな事業内容

「ひと集い」学びあふれる「生涯きらめきのまち」する「実現に向けて」



リニアと翔る都留ロードレース大会

○移住・定住のさらなる促進を「都留市移住コンシェルジュ事業」

市内在住者や本市への移住者を登録し、移住希望者への相談対応や移住イベントへの参加、移住・定住に関する情報発信、移住後の交流などの活動を通じ、本市への移住希望者に対し継続的な支援を行うことで安心して移住できる環境を整える。

○全国に誇れる地方創生の好モデル「株式会社山梨中央銀行との包括連携協定」

振興、健康寿命の延伸と地域の活性化を目指します。多くの皆様のご参加とランナーへの温かいご声援をお願いいたします。

○学力の向上、学習意欲の向上を図る「小中学生資格取得補助金制度」

市内に住所を有する児童・生徒を対象とする。資格の種類は英語検定・漢字検定・数学検定とし、受験料の全額または1/2を補助する。これにより、小学生から高校生までの資格取得に対する補助制度が整うことになる。

○「フードバンク子ども支援プロジェクト」を実施

本市と本市教育委員会、NPO法人フードバンク山梨とが連携し実施する。具体的には「子どもの貧困対策」の一つとして、給食の提供のない長期休暇中に欠食を防止するため、フードバンク山梨による集中的な食料支援を行うとともに、月に2回程度の学習支援も行う。貧困の連鎖によって子供たちの将来が閉ざされることがないようにすることが社会全体の義務と考える。

○開学以来の大改革へ「都留文科大」

国際バカロレアに対応した「国際教育学科」をこの4月に開設。学部の4年間をかけて国際バカロレアプログラムを学べるのは都留文科大が全国初であり、2年次後期からはデンマークを中心とした北欧諸国への留学を義務付けるなど、独創的な学科・カリキュラムとして全国からも注目を集めている。また、新学部として「教養学部」を、その下に「学校教育学科」「地域社会学科」を設置する、平成30年4月の学部学科の改編へ向け取り組んでおり、都留文科大が今以上に信頼され、有能な人材を輩出し、地域の発展に貢献できる存在となるよう本市も連携・協力していく。

総務産業建設

常任委員会

6月21日午前10時開催

委員長 天野 利夫 副委員長 小林 健太

■審査した議案(付託議案)

- ・議第35号 都留市個人情報保護条例及び都留市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例中改正の件
- ・議題36号 都留市農業振興地域整備促進協議会条例中改正の件
- ・議題37号 都留市消防団員等公務災害補償条例中改正の件
- ・議題38号 公立大学法人都留文科大学が徴収する料金の上限の定めの変更の認可に関する件
- ・議題39号 市道の路線の変更の件
- ・議題40号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第1号)

委員会では、◎農業委員会の委員と農地利用最適化推進委員の職務等の相違点及び各委員の選出方法等について、◎農業委員会等に関する法律の主な改正内容について、◎非常勤消防団員等の公務災害補償の適用範囲について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。



社会厚生

常任委員会

6月21日午後1時30分開催

委員長 奥秋 保 副委員長 日向 美徳

■審査した議案(付託議案)

- ・議題34号 都留市健康ジム条例制定の件
- ・議題40号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第1号)

委員会では、◎健康ジム設置に伴う施設等の管理及び運営等に関する本市の考えについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※議第40号平成29年度都留市一般会計補正予算(第1号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

人事案件

監査委員

○大 幡 高部 治男

6月23日の本会議で、監査委員の選任について議案が上程され、満場一致で同意されました。

固定資産評価員

○大 幡 高部 剛

6月23日の本会議で、固定資産評価員の選任について議案が上程され、満場一致で同意されました。

農業委員会委員

6月23日の本会議で、農業委員会委員の任命について議案が上程され、満場一致で同意されました。

- 法 能 小 保 正 孝
- 鹿 留 小 林 紀 江
- 川 棚 奥 秋 芳 久
- 十日市場 堀 口 校
- 田野倉 長 田 和 夫
- 夏 狩 藤 江 博
- 大 幡 渡 邊 厚
- 朝日馬場 清 水 一 夫
- 小 形 山 梶 本 伸 一 郎
- 古 川 渡 小 保 忠 雄
- 小 野 木 村 政 夫



人権擁護委員

○金 井 織 田 美 和 子

6月23日の本会議で、人権擁護委員の推薦について諮問が上程され、満場一致で同意されました。

平成29年9月定例会

おもな事業内容

市長の所信表明



道の駅つる

まるたの森クリーンセンター

● 一般廃棄物処理施設

「まるたの森クリーンセンター」

大月都留広域事務組合では、地元大月市初狩町、初狩町ごみ焼却施設環境運営協議会と交わされた「まるたの森クリーンセンター」の使用期限が平成31年11月末と迫っていることから、都留市中津森地内に新たな建設場所を計画するとともに、既存の焼却炉の基幹改修による延命措置により、おおむね10年程度は今の場所で稼働できるように、期間延長の申し入れを行った。

本市としても、地域住民の健康と生活環境の保全が堅持できる、住民目線に立った優れた新ごみ処理施設の建設に協力していく。

● 「生涯活躍のまち・つる」事業

「旧雇用促進住宅下谷宿舎」をサービス付き高齢者向け住宅として改修・運営する「単独型居住プロジェクト」の実施事業者が主体となり、東京有楽町の「生涯活躍のまち移住促進センター」において、このプロジェクトへの移住を真剣に検討されている方々による「生涯活躍のまち・つるをつくる会」を発足し、月1回の意見交換会を開催している。整備の段階から意見を交換する中で、相互に支えあう仕組みを考え、

共に創り上げる取り組みとして進めている。

また、都留文科大に隣接するエリアに居住環境を整備する「複合型居住プロジェクト」についても、来年度以降の事業者公募に向けて、募集要項の作成など準備を進めている。

● 「農業振興」

「道の駅つる」の活用をはじめとしたソフト事業と、山梨県中山間地域総合整備事業等を活用したハード事業の2つの柱を中心として施策を進めている。

農家の所得を増加させるためには、限られた農地をいかに有効に活用するかが鍵となる。果樹等の普及も視野に入れ、本市の気候風土に適した高収益作物の導入を検討するなど、魅力ある農業を確立していく。

山梨県中山間地域総合整備事業については、地域の皆様のご協力により事業が順調に進捗している。今後も事業主体である県との連携を図るとともに、地元住民の皆様の意見を踏まえながら事業を実施し、農業振興を図っていく。

● 「健康ジム」

健康ジムは、ふるさと会館1階を改修して設置し、スタジオ、ストレッチエリア、ジムエリア、談話スペース、測定エリア、更衣室等の機能を有するもの。市民の皆様に日常的な運動機会及びコミュニティの場を提供するとともに、生涯を通じての健やかでいきいきとした市民生活の実現を目的とし、来年4月のオープンに向けて実際に準備を進めている。

総務産業建設

常任委員会

■審査した議案(付託議案)

- ・議第45号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第2号)

本委員会では、◎中山間地域総合整備事業の整備状況と今後の予定について、◎高収益作物導入事業による果樹等の栽培実証実験など今後の進め方について、◎高収益作物導入事業の企画段階での調査と実施に向けての考え方について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

9月13日午前10時から

委員長: 野野 利夫 副委員長: 小林 健太



委員会の様子

社会厚生

常任委員会

■審査した議案(付託議案)

- ・議題45号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第2号)
- ・議題46号 平成29年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・議題47号 平成29年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・議題48号 平成29年度都留市病院事業会計補正予算(第1号)
- ・請願第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願

本委員会では、◎市内小中学校校舎等の非構造部材耐震改修工事の実施計画について、◎保育所等整備費補助

9月13日午後1時30分から

委員長: 奥秋 保 副委員長: 日向 美徳

金により整備予定の防犯カメラ等の施設整備について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

次に、請願第1号については「採択」すべきものとしました。



委員会の様子

※議第45号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第2号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

決算

特別委員会
(決算審査)

■審査した議案(付託議案)

- ・認題1号 平成28年度都留市各会計歳入歳出決算認定の件
- ・認題2号 平成28年度都留市水道事業会計決算認定の件
- ・認題3号 平成28年度都留市病院事業会計決算認定の件

本委員会では、◎学力向上フォローアップ事業の事業概要と成果について、◎財政調整基金の現在高と今後の使途について、◎公共施設等の維持管理における今後の考えと財源について、◎下水道への接続率の向上と未接続の方への対応について、◎健康ポイント登録者の現状とその経費

9月14日・15日・19日 午前10時から

委員長: 小林 歳男 副委員長: 藤本 明久

について、◎産科分娩再開による病院事業収益の見通しについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、委員会の審査過程における意見、要望、指摘を、今後の予算編成及び予算執行などに反映されるよう望み、付託された決算については、原案のとおり認定すべきものとしました。



委員会の様子

市長の所信表明

①「生涯活躍のまち（CCRC）事業」

下谷地区の「単独型居住プロジェクト」、その敷地内の「地域交流拠点施設」、都留文科大に隣接するエリアの「複合型居住プロジェクト」について、今後も整備を進めます。

さらに、地場産業の再興を目指し、製造業・町工場におけるモノの開発促進や異業種連携を含む新たな産業の創出、介護ロボットの導入活用などの可能性も探っていききたい。

②「農林産物直売所（道の駅）を核とした地域活性化

「道の駅つる」のオープン以降、農業はお金を稼ぐことができる「しごと」であるという意識が生産者の中に芽生えるなど、一定の成果が見えてきました。今後は、「生涯活躍のまち・つる事業」とも連携を図り、気軽にできる体験から、生業までの仕組みをつくり、農業就労希望者の拡大を図っていきます。

③「教育首都つる」のさらなる発展

現在、都留文科大との連携により、授業の補助や放課後学習支援を行う学生アシスタントティーチャーを全ての小中学校で導入し、教育者を目指す学生と子どもたちが、共に学びあうことができる特徴的な事業を展開しています。今後はさらに満足度の高い結果を得るために、総合的な見直しに着手していきます。

④「心豊かに暮らせるきらめきのまちじゅく」

いきいきと心豊かに暮らせるように、ライフステージに合わせた様々な支援策を講じております。

来年度に控える産科分娩の再開のほか、健康長寿のための施策や介護施策も強化します。

また、すべての市民や関係機関、そして行政が連携・協働して「安心・安全に暮らせるまちづくり」を促進する「セーフコミュニティ」の取り組みを進めます。

○「就学援助制度の支給時期の前倒し及び支給額の改定

「入学準備金」に関しては、入学に際しランドセルや通学カバン、制服や体操着など、新たに揃えなければならぬ状況がある中で、準要保護世帯の保護者の経済的負担を軽減するため、その支給時期を入学前の3月に前倒しします。支給金額も国基準と同額に改定し平成30年4月入学時から適用します。

○「首都圏都留市会」の設立

首都圏で活躍されている山梨県の出身者や関係者で結成されている「山梨県人会連合会」は、2年後の平成31年に創立70周年を迎えます。また、多くの市町村においては、県人会連合会の連携組織となる「市町村単位の会」が首都圏で結成されており、このような状況の中、山梨県人会連合会や、県人会役員として活動されている本市出身の方々から、山梨県人会の都留市における「会」の結成要望が寄せられております。地方の課題が山積する昨今、本市と首都圏の情報をお互いに交換し、人と人とのネットワークを構築していくことが、私たちの元気なふるさと都留の実現につながるものと確信いたします。

首都圏で活躍されている本市出身者、また本市にゆかりのある方々と都留市民がともに手を携え、お互いの情報を積極的に交換し親睦と交流を図ることに、ふるさと都留市のさらなる発展に寄与することを目的として、「首都圏都留市会」を設立し、それを支援していくことといたしました。

道の駅つる

■第6次都留市長期総合計画（平成28年度～平成38年度）

「前期基本計画」（平成28年度～30年度）の最終年度である来年度は、重点的に取り組む施策である「リーディング・プロジェクト」の4つの柱をさらに大きく展開し、次の「中期基本計画」へと発展させます。

総務産業建設

常任委員会

12月20日午前10時から

委員長 天野 利夫 副委員長 小林 健太

■審査した議案(付託議案)

- ・議第49号 都留市職員の退職手当に関する条例中改正の件
- ・議第50号 山梨県東部広域連合規約中変更の件
- ・議第53号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・議第54号 平成29年度都留市下水道事業特別会計補正予算(第1号)

委員会では、◎山梨県東部広域連合規約の変更に伴う、本市負担割合について、◎活力ある水田農業支援事業費補助金を活用した休耕田減少に向けた取組みについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。



東桂地区の休耕田

社会厚生

常任委員会

12月20日午後1時30分から

委員長 奥秋 保 副委員長 日向 美徳

■審査した議案(付託議案)

- ・議第51号 指定管理者の指定の件(都留市デイサービスセンター)
- ・議第52号 指定管理者の指定の件(都留市健康ジム)
- ・議第53号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第4号)
- ・議第55号 平成29年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・議第56号 平成29年度都留市介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ・議第57号 平成29年度都留市病院事業会計補正予算(第2号)

委員会では、◎都留市健康ジムに関する現在までの決定事項と設置予定の器具等について、◎都留市健康ジム利用者への健康ポイントの付与について、◎都留市健康ジム内



健康ジムイメージ図

のレイアウトについて、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

※議第53号平成29年度都留市一般会計補正予算(第4号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

市長の所信表明



○本格的なまちづくりが開始される 「生涯活躍のまち・つる」事業

下谷地区で進めている「単独型居住プロジェクト」では、サービスタ付き高齢者向け住宅への改修のため、現在、平成31年4月のオープンに向けて準備を進めています。これと並行し、移住者を含めた多世代の交流拠点として整備を進めていた「地域交流拠点施設」についても、サービスタ付き高齢者向け住宅と併せてオープンの予定です。

○安全で安心なまちの実現を目指す「セーフコミュニティ」

「事故やケガは偶然の結果ではなく、原因を分析することで予防することができる」との理念のもと、WHO（世界保健機構）が推奨する国際認証制度であり、新年度のスタート時には、「取組開始宣言」ができるよう準備を進めています。

これは、安全・安心に関わるさまざまな分野の垣根を越え、幅広い組織の協働・連携のもとで進めることにより、「地域の誰もがいつまでも健康で幸せに暮らせるまち」を創ろうという取り組みです。

○本市の観光の可能性を探る「観光の振興」

風光明媚な山々、中世から続く城下町としての歴史や文化、平成の名水百選にも選ばれた豊かに湧き出す富士山の湧水や伝統産業など、地域にある資源を観光資源として、新しい観光産業を組み立てるため「つる観光戦略」を策定し、集客と交流人口の増加による地域経済の活性化を図るための取り組みを加速させていきます。

○重要なライフラインである「地下水の保全」

本定例会に上程した「都留市地下水保全条例（案）」

は、富士山や本市を取り囲む豊かな山林からもたらされる地下水資源を、市民が将来にわたり享受できるように、井戸設置者及び市、事業者、市民それぞれの役割と責務を明確にするとともに、一定規模以上の揚水設備を有する井戸に設置基準を設けるなど、地下水の適正な採取について必要な事項を定め、地下水の保全を積極的に図るものです。

○再開に向けて準備を進める「都留市立病院の産科分娩」

施設や医療機器等の整備、医療スタッフの確保など、産科分娩の再開に向け諸準備を進めています。今後も山梨県並びに山梨大学医学部などの関係機関と綿密な打ち合わせを重ね、一日でも早く本市において安心して出産ができるよう努めていきます。

○切れ目のないサポート体制を強化する「産婦健康診査事業」

産後うつへの予防や新生児への虐待予防等を図るため、産婦に対する健康診査を実施し、母体の体調面の状況や、精神面の状況及び子育ての状況などを把握し、その後、継続支援の必要な乳幼児と保護者に対しては、専門家による子育てメンタル相談を実施するものです。

○持続可能な保険制度を目指す「国民健康保険の広域化」

平成30年度から、都道府県が市町村とともに国民健康保険の運営を担い、財政運営の責任主体として中心的な役割を担うことにより、国民健康保険制度の安定化を図ります。

一方市町村は、住民と身近な関係の中、保健事業等の地域におけるきめ細かい事業を引き続き行います。

○より実践的な支援に活用

「避難行動要支援者名簿システム」

名簿だけではなく居住場所を地図情報として管理し、災害時に地域の支援関係機関に「名簿」と「地図」の情報提供を行い、即座に安否確認につなげられる「避難行動要支援者名簿システム」を新たに導入しました。避難行動要支援者が迅速かつ的確に避難できる体制を構築していきます。

総務産業建設

常任委員会

3月14日午前10時から

委員長 天野 利夫 副委員長 小林 健太

■審査した議案(付託議案)

- ・議第1号 都留市地域交流拠点施設条例制定の件
- ・議第5号 都留市職員給与条例中改正の件
- ・議第6号 都留市職員の退職手当に関する条例中改正の件
- ・議第7号 都留市職員の育児休業等に関する条例中改正の件
- ・議第8号 都留市個人情報保護条例中改正の件
- ・議第9号 都留市公立大学法人評価委員会条例中改正の件
- ・議第17号 都留市企業立地支援条例中改正の件
- ・議第18号 都留市都市公園条例中改正の件
- ・議第19号 都留市営住宅条例中改正の件
- ・議第20号 都留市消防団員等公務災害補償条例中改正の件
- ・議第21号 都留市手数料条例中改正の件
- ・議第26号 公立大学法人都留文科大定款中変更の件
- ・議第41号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第6号)

- 委員会では、
- ・地域交流拠点施設条例に規定する施設の使用料等について
 - ・時間外勤務等による週休日への振り替え制度の取得状況について
 - ・本市における育児休業の取得状況について

- ・市民一人当たりの都市公園の敷地面積の現状と今後の算出基準について
- ・現在計画している公共施設の改修について
- ・中山間地域総合整備事業における実施箇所と事業内容について、などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

社会厚生

常任委員会

3月14日午後1時30分から

委員長 奥秋 保 副委員長 日向 美徳

■審査した議案(付託議案)

- ・議第2号 都留市地下水保全条例制定の件
- ・議第3号 都留市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件
- ・議第4号 都留市地域コミュニティセンター条例改正の件
- ・議第10号 都留市国民健康保険条例中改正の件
- ・議第11号 都留市国民健康保険税条例中改正の件
- ・議第12号 都留市国民健康保険財政調整基金条例中改正の件
- ・議第13号 都留市後期高齢者医療に関する条例中改正の件
- ・議第14号 都留市税条例中改正の件
- ・議第15号 都留市介護保険条例中改正の件
- ・議第16号 都留市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例等中改正の件
- ・議第22号 都留市学校給食センター設置条例中改正の件
- ・議第23号 都留市公民館条例中改正の件
- ・議第24号 都留市民総合体育館条例中改正の件
- ・議第25号 都留市国民健康保険出産費資金貸付基金条例及び都留市国民健康保険出産費資金貸付事業条例廃止の件
- ・議第41号 平成29年度都留市一般会計補正予算(第6号)
- ・議第42号 平成29年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・議第43号 平成29年度都留市病院事業会計補正予算(第3号)
- ・請願第1号 子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願

- 委員会では
- ・学校給食センター設置条例改正に伴い対象校の追加理由と今後の計画について
 - ・市内小中学校における無線LAN環境構築工事に伴い、無線LANの使用可能範囲について

などの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

次に、請願第1号については「採択」すべきものとししました。

※議第41号平成29年度都留市一般会計補正予算(第6号)は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

予算特別

委員会

3月15・16・19日午前10時から

委員長 藤江 喜美子 副委員長 日向 美徳

■審査した議案(付託議案)

- ・議第27号～議第38号
平成30年度都留市各会計予算
- ・議第39号 平成30年度都留市水道事業会計予算
- ・議第40号 平成30年度都留市病院事業会計予算

委員会では、

- ・ふるさと応援寄附金など自主財源確保のための方策について
- ・生涯活躍のまち・つる事業における指定管理者への補助金について
- ・単独型居住プロジェクトである下谷施設への移住希望者の現状と家賃等の費用について
- ・障がい者等地域生活支援事業における自立した日常生活と社会生活の本市の考えについて
- ・介護支援ボランティア制度の内容と健康ポイント制度との関連について
- ・保育士の賃金等に対する処遇改善に向けた本市の考えについて
- ・ものづくり技術開発補助金の対象範囲と今後の予算拡充について



昨年開催された「第2回リニアと翔る都留ロードレース大会」

- ・橋梁長寿命化修繕計画における進捗状況と今後の見通しについて
- ・新学習指導要領における本市の外国語教育の現状とICT環境整備に対する本市の考えについて
- ・都留ロードレース大会の開催にかかる費用の内訳と参加者増員のための方策について

その他多くの質疑があり、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決（議第27号及び議第31号については起立採決）としました。

3月定例会 会期日程

◆ 3月1日 本会議
(開会)

◎ 会議録署名議員の指名

◎ 会期の決定

◎ 提出議案の市長説明並びに所信表明

◎ 議案及び請願の委員会付託

◆ 3月12日 本会議

◎ 一般質問

◆ 3月14日

総務産業建設常任委員会
社会厚生常任委員会

◆ 3月15日

予算特別委員会

◆ 3月16日

予算特別委員会

◆ 3月19日

予算特別委員会

◆ 3月23日 本会議

◎ 委員長報告

◎ 議案審議

(閉会)

各会議等における議員の欠席日数状況報告

(H29.4月～H30.3月)

	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	板倉	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	小林
	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	保秋	喜美子	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武	歳男
本会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
常任委員会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別委員会	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
全員協議会	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—	1	—	—
議員研修	—	2	—	—	—	1	1	—	—	—	1	—	—	3	1	3

※志村武彦議員については、平成29年11月13日就任のためそれ以降の状況となります。

人事案件

3月23日の本会議で、教育委員会委員の任命について議案が上程され、満場一致で同意されました。

教育委員会委員

朝日馬場 小俣 洋

議会改革特別委員会

◎議会報告会

市内全9地区で6月定例会後から8月中旬に実施した。行政に関する意見を市長に、議会に関する意見を議長にそれぞれ提出した。

◎議員定数（提案者：国田正己）

複数回に渡り多くの議論が行われた。提案理由として、人口減などが焦点になった。同規模自治体と比べても都留市は先進事例の1つである事、都留市の人口は未だ3万人を維持できている事となり、多角的な観点から今後も継続して審議していく必要があるとの判断。

◎ICTの活用（提案者：奥秋保）

議論が行われた。調査委員会の参



委員会での協議の様子

加希望者を募ったが、提案者を含む参加希望者がなかったため取り消し。

◎議場でのパネル使用

（提案者：山本美正）

議論が行われた。賛成反対多くの意見がでたが、より多くの調査・研究が必要との判断で提案者自ら一時取り下げ。

◎会派会則条例制定

（提案者：山本美正）

提案後、参考資料の確認のみ行われた。より多くの調査・研究が必要との判断で提案者自ら一時取り下げ。

山梨県後期高齢者医療広域連合

◎平成29年第2回定例会

議会運営委員会委員の選任が行われた。また、「副広域連合長」に鳴沢村長の小林氏、「監査委員」として早川町の望月議員を選任した件について同意された。その他に、平成28年度一般会計・特別会計決算の認定等がされた。

◎平成30年第1回定例会

「連合職員の育児休業等に関する条例」「個人情報保護条例」「情報公開条例」の一部を改正する条例の制定、「平成29年度一般会計、特別会計補正予算」「平成30年度一般会計、特別会計予算」が可決された。

大月都留広域事務組合議会

◎焼却施設基幹的設備改良工事

焼却施設の公害防止・延命対策のため、平成29年度より平成31年度までの3年間の継続費を設定し、「焼却施設基幹的設備改良工事」を実施し、スケジュール通り進捗している。

◎初狩町ごみ焼却施設環境運営協議会との協定期限延長

現行のごみ処理施設「まるたの森クリーンセンター」の協定期限が平成31年11月末となっていることから協定期限の延長の申し入れを行い、度重なる説明会等を行っている。

◎田野倉地内し尿処理施設

現在のし尿処理施設の田野倉地区環境整備協議会との協定期間は平成30年度末までとなっていることから、同協議会に対し組合長から、期間延長のお願いをしたところであり、変更協定の締結に向け協議を進めている。

◎山梨県の「ごみ処理広域化計画」に沿ったごみ処理の集約化について



まるたの森クリーンセンター

県内3ブロックの内、Bブロック（富士北麓・東部地域）を除く2ブロックでは1ブロックがすでに稼働し、残りは集約に向けた基本合意書の締結に至っている。Bブロック（富士北麓・東部地域）は、県の計画上では最終的に1施設へ集約することが望ましいとされており、昨年、県が実施したBブロック内の自治体を対象とした意向調査においても、概ね同様な結果が示されたところである。

現在、Bブロック担当部署により県の「ごみ処理広域化計画」の勉強会がスタートしたところである。

山梨県東部広域連合議会

◎各定例会

7月定例会では「山梨県東部広域連合職員の育児休業等に関する条例」及び山梨県東部広域連合職員の勤務時間、休暇等に関する条例改正の専決処分が承認、「山梨県東部広域連合監査委員の選任について」が同意された。11月定例会では「平成29年度一般会計補正予算」が可決、「平成28年度一般会計歳入歳出決算」が認定された。2月定例会では「山梨県東部広域連合職員給与条例改正」の専決処分が承認、「山梨県東部広域連合大鶴楽生園の設置及び管理に関する条例の廃止」及び「平成30年度一般会計予算」が可決された。

視 察 研 修 ～

研修を行いました。それぞれの概要は次のとおりです。



大館市議会にて

平成29年7月27日（木）

●秋田県鹿角市

『「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと」総合戦略」事業』

毎年人口が減少し、若者の他市への進学後、Uターン就職者が少ないなど、都留市と似た悩みを抱えていた。

このような現状を打開すべく政策を展開している。雇用創出、ブランドの育成、地元企業

の高度化支援、観光の確立等、大学と行政による連携の推進、地域の魅力を活用したものなど様々。

研修を終えて

都留市においても、都留市人口ビジョン・都留市総合戦略を打ち出し

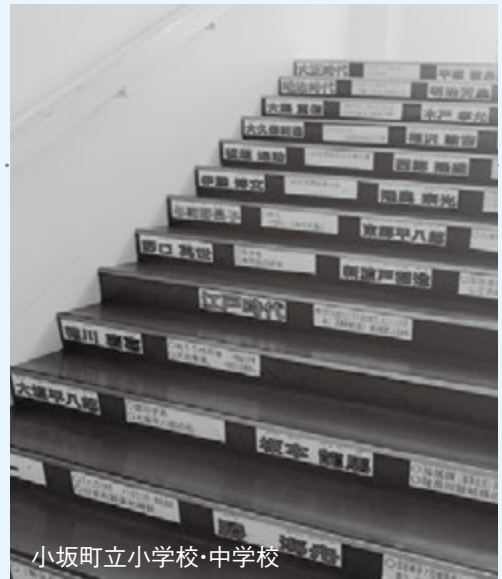
ていることから、地方が抱える共通であろう重要課題について、考える機会となった。魅力ある都留市を作るための議員としての知識をより一層深め、行政への意見・提言ができるよう、今後も調査・研究を進めていく必要がある。

平成29年7月27日（木）

●秋田県小坂町

『新総合教育エリア構想』

児童数の減少により、相次いで学校が閉校。規模にあったコンパクトで質の高い学校をつくる、学校教育施設、社会教育施設等の集約、小中一貫教育、小



小坂町立小学校・中学校

中と高の連携を推進することを掲げ、新総合教育エリア構想が策定される。

学校関連施設一カ所集中による諸問題は様々あり、スクールバス、町のバスやタクシー等を活用し、その通学費用については助成をおこなう等家庭への負担軽減を町が行うなど工夫して乗り越えた。

研修を終えて

今後、全国的に人口減少・少子高齢化社会が進み、児童数が減少していく。都留市においても例外ではない。議員として求められる幅広い知識・学校現場からの声等に耳を澄ませ、教育都市つるの推進に取り組んでい

きたい。

平成29年7月28日（金）

●秋田県大館市

『子ども子育て支援事業計画』

子育て支援に様々な団体、企業が協力し、男性の育児休暇なども積極的に推奨しており、夫婦ともに子育てしやすい環境づくりに力を入れている。計画を策定する際には、子ども子育て支援ニーズ調査を行い、地域住民の生の声を政策に反映しているとのこと。

研修を終えて

大館市の課題、都留市の課題については相違があるが、地域の実情や子育て世帯のニーズを十分に考慮した政策執行が大切。転入希望者が増える、都留市に住みつづけたと思う人が増える、そのためには都留市独自の魅力を見つけたし、作り出すことが必要。今回の研修は、その足掛かりとなり、都留市を見つめ直す有意義なものであった。

議員

今年度は2班に分かれて

レポート

都留市議会 視察研修



松江市議会にて

平成29年8月23日(水)

●鳥取県倉吉市

『空き家の活用を含めた 移住定住・地域づくり』

倉吉市においても本市同様に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めており、人口の社会減を阻止するため、①IJUターナー者（特に子育て世代）を呼び込む、②女性の合計特殊出生率を上げていくことの2点をあげている。

空き家対策についてもこの移住・定住施策を核として取り組んでおり、空き家活用のために賃貸物件家財処分助成金や若年層転入者への新築、中古住宅取得後の固定資産税減免制度、転入者への新築、中古住宅取得、中古住宅リフォーム支援等、多



倉吉市の古民家大鳥屋にて

種多様な転入者向けの住宅支援が用意されており、更に地元金融機関も住宅購入ローンを作るなど、行政と地域が協力し、移住者確保を行っているように見受けられる。

本市でも全体目標としての移住定住施策との連携を随時模索し、移住定住に結び付ける事業展開が必要である。

平成29年8月24日(木)

●鳥根県松江市

『空家等対策計画における危険度点数化・強制撤去等』

この地域での空き家の特徴としては「街中」、「山中」、「海沿い」、「湖周辺」など立地条件が多彩であり、かつ、県の中心都市として資産価値の大きい物や山間地で資産価値の低い物などかなり幅がある。市としては、これらの多様性を生かして「空き家バンク」登録を行い、移住・定住希望者にニーズに合わせた空き家を紹介することを一つの柱としている。一方では特定空家等の管理不全住宅への対処については庁内の空き家データベースの共有により、所有者に対する資産活用の助言・指導を行い、問題物件とならないよう努めている。

松江市においては、空家等の増加により住居の周辺環境が悪化することを未然に防ぐ、「危険空き家の予防事業」に視点を置いており、また、地域資源の一つとして、空き家の早期発見、

早期活用の住居環境の改善サイクルを構築することを目標としている。

研修を終えて

本市においての空き家対策と
言えば、管理不全な特定空家の対応が中心となり、代執行の可否、手順等が議論されることが多い。しかし、今回の視察により広い意味で、空家対策は居住地域・環境の保全が目的と考え、資産価値の有無による空き家対策の優先順位付けも検討対象となった。

また、今回の2市において、「空き家バンク」の有効活用が共通の施策となっており、この活用が地域への移住・定住の架け橋となっている。本市においても管理不全となる空き家を早期から調査し「空き家バンク」へ繋げ、活用する際に修繕が必要な空き家には支援方法を周知するなど、全庁的な役割分担を体系化し、これらのルールを見えるように構築したうえで、市民にも広く発信していくことが必要であると考えます。

行政視察研修～



研修地・研修内容

- ◎千葉県山武市議会
「議会改革について」
- ◎千葉県勝浦市議会
「議員定数削減の経過について」

千葉県山武市 議会改革について

平成29年11月15日（水）

山武市は、平成18年3月27日に成東町、山武町、蓮沼村、松尾町の3町1村が合併し誕生しました。山武市議会では、これまで議会改革検討委員会や議会改革特別委員会を設置し、議会の機能の充実や議会の活性化などの改革に取り組んできました。

主な改革

タブレット端末の導入

導入目的

- ◆業務の効率化
会議システム導入によるペーパーレスでの会議運営
- ◆議会内の情報伝達の迅速性
郵送、Faxによる連絡手段から電子メールへ
- ◆ペーパーレスによる経費削減
紙及び印刷に要する人件費等の削減、ごみ排出量の削減
- ◆災害情報の伝達等への利用
災害時の連絡手段・被災写真の送信等を想定（実際の運用はこれから）



山武市議会にて

導入結果

- ◆電子メールによる情報伝達
郵送やFaxに比べ通知などの即時伝達が可能で、経費削減やFax送信にかかる時間及び送信エラーの心配もなくなった。

- ◆会議システムの運用
資料をクラウドへ保管し、各議員がアクセスして閲覧できる会議システムを運用することで、原則、紙資料の配布を無くした。各議員により活用状況に差はあるが、議員活動のツールとして積極的に活用されている。

考察

山武市議会ではインターネット中継も行い、積極的に開かれた議会を目指しているとのことでした。議会の在り方について、山武市議会の方向性を視察してきましたが、都留市議会ならではの議会改革、広報活動や定数問題をそれぞれの議員がよく考え、都留市の事情に応じた、都留市議会としての活動の必要性を強く感じました。

平成29年11月16日（木）

千葉県勝浦市

人口減少と

議員定数削減の経過

経過

平成21年12月7日議会改革検討委員会設置

議員定数削減について（18名から16名）を検討、議論は賛成・反対の意見が出され、採決には至らず。

平成23年3月定例会（平成23年3月25日）

議員発議により「勝浦市議会の議員の定める条例の一部を改正する条例の制定について」を上程、賛成反対同数につき、議長採決により否決。

平成23年6月24日議会改革検討委員会設置

開かれた議会を目指し9名の委員を選出し、議員定数削減について検討。「市の財政、人口減少の傾向から減員すべき」との意見と「定数を減らすと民意の反映が難しくなるため現状維持すべき」との意見が平行線となり、決を採った結果議員定数2名減を委員



勝浦市議会にて

会としての結論とした。これを全員協議会で報告したところ、賛成多数となり、次回の選挙から定数を16名とする改正条例を平成26年3月定例会に提出し、可決された。

- 平成27年6月12日議会改革検討委員会設置
- 委員数は6名、議員定数、議員報酬や手当について検討したが、具体的な検討には至らず。
- 平成29年6月12日議会改革検討委員会改選
- 前検討委員会により、任期2年を定める。
- 議員定数（減）、議員報酬及

勝浦市の人口減少は自然減とはいえ深刻な状況で、これに伴う議会改革として議員定数削減や報酬の見直しなどに取り組んできたことでした。

この勝浦市議会での議員定数削減の手順や議員報酬の増減問題などを参考にして、人口減少傾向にある本市においても、議員定数や議員報酬などのありかたについて、首都圏エリアや近隣市議会の動向を見定めながら継続的に検討していくことが重要であると感じました。

考察

議員定数の推移

選挙	人口(前年度末)	議員定数
平成15年4月27日	23,050人	22人
平成19年4月22日	21,906人	18人
平成23年4月24日	20,549人	18人
平成27年4月26日	19,299人	16人
平成29年10月末	18,117人	

び手当（増額）について検討していく予定。



志村 武彦 議員（議席1番）

平成29年11月12日執行

市議会議員補欠選挙 当選議員の紹介

市民の皆様こんにちは。50歳の新人ではございますが、これからの都留市を皆様と共に考え、行動していきたいと思っております。秋には都留市立病院の産科分娩が再開されます。人口減少に歯止めをかけ、これからの都留市発展のために「いいものは良い。わるいものは悪い」と是々非々で活動をして参ります。町で見かけた際には、お気軽にお声掛けをいただければ幸いです。

傍聴席がリニューアル!!

昨年12月、都留市議会議事堂の傍聴席がリニューアルされ、明るく、清潔感のある傍聴席へと生まれ変わりました。

傍聴は、市議会活動にふれる最も身近な方法です。本会議では、議案に対する質疑、市政に関する一般質問など、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題について、活発な議論が交わされます。市政への理解を深めていただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

都留市議会の皆様を心よりお待ちしております。



都留市役所3階 議場の傍聴席

行政視察研修～

研修地 研修内容

- ◎愛媛県四国中央市
「発達支援センターについて」
- ◎愛媛県八幡浜市
「明治時代の街並みの保存と
その活用について」
- ◎愛媛県内子町
「大学との連携による地域活性化について」



平成30年1月31日（水） 子ども若者発達 支援センター ●四国中央市

愛媛県の最西部に位置する人口88,634人の市。全国的に発達障害者の認知度がますます上がるなか、市として発達支援センターを設立するに至った四国中央市。その実際の支援内容等について研修を受けた。

平成29年4月「子ども発達支援センター」内に「子ども・若者総合相談センター」を設置したことにより、相談対象年齢を39歳まで拡大し、引きこもり・ニート等の若者の悩みにも対応している。この取組みは様々な諸問題を抱えている家庭を総合的に支援できる。幼稚園・保育園から学校などの教育機関及び保健所・病院など様々な関わりのある関係機関との「支援会議」により「個別支援計画」を作成し子どもを支援している。つまり福祉と教育との融合がされているという事であり、行政



子ども若者発達支援センター（四国中央市）

が一丸となって取り組んでいる。

施設はデザインや安全性が優れており、様々な子ども達への対応ができるような「個別療育こべや」「小集団療育活動室」「箱庭療法室」「感覚統合療法」のプレイルーム等の整備がされたすばらしいものであった。

都留市においても、これらの相談・支援は重要な課題であり、保育園、小中学校、行政、その他関係機関との連携は見習うところがあると感じた。

平成30年2月1日（木） 明治時代の街並みの 保存とその活用について ●八幡浜市

人口34,546人と都留市とほぼ同数の人口を有する市。当市の保内地区については、かつて港町として栄え、現在もその街並みが色濃く残り、独特の存在感を放つ。その街並みの一角である旧白石和太郎洋館にて担当者より説明を受け、その後、現地を回ることで、日本全体が近代化するなか、いまだ明治時代の街並みが残る独特な雰囲気を感じた。

八幡浜市の建物の説明を受けながら市内を回った。地震や火災などからこの町並みを保存する事は容易なことではないにも関わらず、維持管理が所有者任せになっている。今後、行政として固定資産税の補助などの検討が必要なのではないだろうか。

また、市の財産でもある歴史建造物を観光資源とし、積極的



明治時代に建てられた「旧白石石和太郎洋館」で研修を受けた。(八幡浜市)

に観光客を呼び込む姿勢に共感を覚えた。それと同時に、点状とする観光資源を総合的にPRしてゆく難しさも痛感した。

都留市においても共通する部分は多い。歴史的に貴重な建物を町並みとして保存し、その資源をどう活かしていくか、検討していく必要があるだろう。

平成30年2月1日(木) 大学との連携による地域活性化について

●内子町

八幡浜市と同じく町並み保存に力を注ぐ人口16,929人の町。

近隣にある愛媛大学・松山大学等と連携し、学生との町づくりを推進していた。

「町並み保存」を目的とした取組みの中で様々な大学とのつながりが生まれ、地域づくり事業として各大学との協力で事業を展開している。その道の権威者・実力者から指導や協力を得ていることが素晴らしく、大学教授の持つ専門性と幅広い人脈と住民が作り上げた「大学連携と地域活性化」のお手本のような所。地域の持つ特性は専門的視野から多面的に見る必要があるのかもしれない。町の歴史や文化、



内子町

環境などすべてを誇りにしていることがわかる。その結果、町を訪れる観光客が大幅に増加した。

都留市も都留文科大学を中心とした学校関係者との連携で様々な取組みをしているが、残念ながらこの様な結果を出すには至っていない。今後の大学関係者や企業などとの連携事業には長期ビジョンを踏まえ検討していく事が重要であると感じた。

山梨県市議会議長会合同研修会

2月6日(火)、アピオ甲府において山梨県市議会議長会合同研修会(後期)が開催されました。

・テーマ「甲州財閥 今に生きる」 ・講師 江宮 隆之

今年は明治維新から数えて150年という節目の年。国民のためのインフラ整備に力を尽くした甲州財閥。その役割は大きなものがあるが、残念ながらあまり知られていない。甲州人たちが関わっていた仕事やメンバーについて講演がありました。



山梨県市議会議長会合同研修会(後期)

4月

議会日誌



- 3日(月) 年度始め式
- 5日(水) 都留文科大学入学式
- 7日(金) 議会だより編集委員会(第1回)
- 9日(日) 第44回ソフトボール大会
- 11日(火) 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 14日(金) (仮称)政策提言研究会
- 18日(火) 第257回山梨県市議会議長会定期総会
- 19日(水) 議会だより編集委員会(第2回)
校長会・教頭会合同歓送迎会
第54回都留保育所連合会定期総会
- 24日(月) 市町村長及び市町村議会議長会議
- 25日(火) 第83回関東市議会議長会定期総会
- 29日(土) 都留市制63周年記念式典

5月



- 11日(木) 都留市はつらつ鶴寿大学入学式
- 15日(月) 都留市観光協会理事会
- 16日(火) 北海道滝川市議会行政視察
- 17日(水) 全国自治体病院経営都市議会協議会第75回理事会・第45回定期総会
- 18日(木) リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会
- 19日(金) 都留市体育協会定期総会

- 20日(土) 都留機械金属工業協同組合第46回通常総会
都留市中央公民館合同開級式
- 22日(月) 全員協議会
- 23日(火) 島根県益田市議会行政視察
都留市商工会第56回通常総代会
都留市文化協会定期総会
- 24日(水) 全国市議会議長会第93回定期総会
- 26日(金) 平成29年度都留市民生委員児童委員協議会定期総会
- 27日(土) 第24回都留市ふれあい全国俳句大会
- 30日(火) 都留市老人クラブ連合会定期総会

6月



- 2日(金) 都留市民生委員推薦会
青少年育成都留市民会議定期総会
- 5日(月) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
議会改革特別委員会
- 8日(木) ◎6月定例会 開会
- 19日(月) ◎一般質問
- 21日(水) ◎総務産業建設常任委員会/
◎社会厚生常任委員会
- 23日(金) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
◎6月定例会 閉会
議会改革特別委員会
- 30日(金) 都留市消防団長就任披露の宴

7月

議会日誌



- 1日(土) 第49回都留市体育祭り
- 3日(月) 議会だより編集委員会(第1回)
- 7日(金) 都留市職員組合第64回定期大会
- 11日(火) 群馬県玉村町議会行政視察研修
- 18日(火) 平成29年度山梨県高速道路整備促進期成同盟会通常総会
- 19日(水) 議会だより編集委員会(第2回)
- 20日(木) 大月都留広域事務組合議会7月定例会
議会報告会(上谷地区・中谷地区)
- 21日(金) 沖縄県名護市議会行政視察研修
山梨県東部広域連合議会7月定例会
- 23日(日) 第17回県民文化祭フェスティバル事業第31回郡内俳句大会
- 26日(水) 政友クラブ行政視察研修(~28日)
- 30日(日) 図書館・公民館 戦後72年行事
議会報告会(宝地区)

8月



- 2日(水) 議会報告会(東桂地区)
- 3日(木) 議会報告会(禾生地区)
- 4日(金) 議会報告会(三吉地区・開地地区)
議会報告会(盛里地区)
- 6日(日) 第85回都留市町別野球大会

- 6日(日) 山梨県市議会議長会議員合同研修会(前期)
- 10日(木) 議会報告会(下谷地区)
公立大学法人都留文科大学と都留市議会との意見交換会
都留市民生委員推薦会
- 21日(月) 行政視察研修(~25日)
- 22日(火) 第85回都留市町別野球大会閉会式
- 23日(水) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
- 27日(日) ◎9月定例会 開会
- 29日(火) ◎9月定例会 開会
- 31日(木) 第35回ふるさと時代祭り宵祭り

9月



- 1日(金) 第35回ふるさと時代祭り
- 5日(火) 都留興譲館高等学校竣工式
- 11日(月) ◎一般質問
- 13日(水) ◎総務産業建設常任委員会/
◎社会厚生常任委員会
- 14日(木) ◎決算特別委員会
- 15日(金) ◎決算特別委員会
- 19日(火) ◎決算特別委員会
- 22日(金) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
◎9月定例会 閉会
議会改革特別委員会
- 26日(火) 公立大学法人都留文科大学5号館竣工式

10月

議 会 日 誌



- 1日(日) 第20回都留市いきいきフェスティバル2017式典
- 4日(水) 議会だより編集委員会(第1回)
- 6日(金) 埼玉県日高市議会行政視察研修
- 13日(金) 山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
- 15日(日) 第42回都留市消防団員総合訓練大会
第2回リニアと翔る都留ロードレース大会
第39回都留市合唱祭
- 18日(水) 議会だより編集委員会(第2回)
- 19日(木) 第258回山梨県市議会議長会定期総会
- 24日(火) 大分県臼杵市議会行政視察研修
- 26日(木) 栃木県野木町議会行政視察研修
都留市民生委員推薦会
- 27日(金) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 31日(火) 全国高速自動車道市議会協議会第1回理事會

11月

長野県宮田村議会行政視察研修



- 2日(木) 山梨県体育功労者賞受賞祝賀会
- 3日(金) 都留市文化祭式典並びに表彰式
- 7日(火) 千葉県山武市議会行政視察研修
- 8日(水) 全国市議会議長会第103回評議員会

- 8日(水) 岩手県矢巾町議会行政視察研修
- 11日(土) 都留市文化協会創立60年記念式典
- 13日(月) 都留市長選挙・市議会議員補欠選挙当選証書授与式
議会運営委員会
全員協議会
- 14日(火) 一部事務組合下田メディカルセンター議員研修
- 15日(水) 議会運営委員会視察研修会(～16日)
- 16日(木) 都留市戦没者慰霊祭
- 17日(金) 都留市青少年健全育成推進大会
- 20日(月) 地方自治法施行70周年記念式典及びシンポジウム
- 27日(月) 山梨県東部広域連合議会11月定例会
- 29日(水) 大月都留広域事務組合議会11月定例会

12月

- 5日(火) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
- 7日(木) ◎12月定例会 開会
- 18日(月) ◎一般質問
- 20日(水) ◎総務産業建設常任委員会
◎社会厚生常任委員会
- 22日(金) ◎議会運営委員会/◎全員協議会
◎12月定例会 閉会
議会改革特別委員会
- 28日(木) 仕事納め式



1月

議 会 日 誌



- 4日(木) 仕事始め式/新年互礼会
- 5日(金) 議会だより編集委員会(第1回)
議会改革特別委員会
- 7日(日) 第64回都留市成人式式典
- 8日(月) 平成30年都留市消防出初式
- 18日(木) 議会だより編集委員会(第2回)
新春賀詞交歓会
- 19日(金) 都留市校長会・教頭会新年互礼会
- 21日(日) 第16回市民俳句かるた大会
- 25日(木) 議会改革特別委員会
民生委員・児童委員協議会の新年互例会
- 26日(金) 老人クラブ連合会新年互例会
- 28日(日) 都留市道志会新年会
- 29日(月) 会津若松市議会行政視察
- 31日(水) 2常任委員会合同視察研修(～2/2)

- 18日(日) 公民館合同閉級式並びに公民館まつり「首都圏都留市会」設立総会・懇親会
- 20日(火) 議会改革特別委員会
- 21日(水) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 22日(木) 大月都留広域事務組合議会3月定例会
- 23日(金) 山梨県東部広域連合議会3月定例会富士山の日フェスタ2018
- 24日(土) 第20回都留市男女共同参画推進フェスティバル「社会で輝く女性になろう～私のライフプランを見つめなおす～」
- 27日(火) ◎議会運営委員会/◎全員協議会

3月

- 1日(木) ◎3月定例会 開会
- 9日(金) 第37回ふるさと祭りおさらい会
- 10日(土) 都留市はつらつ鶴寿大学卒業式並びに修了式
- 12日(月) ◎一般質問
- 14日(水) ◎総務産業建設常任委員会/
◎社会厚生常任委員会
- 15日(木) ◎予算特別委員会
- 16日(金) ◎予算特別委員会
- 19日(月) ◎予算特別委員会
- 22日(木) 都留文科大学卒業式・学位授与式
- 23日(金) ◎3月定例会 閉会
- 26日(月) 宝コミュニティセンター竣工式
- 27日(火) 都留市民生委員推薦会



2月

山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)



- 5日(月) 全国高速自動車道市議会協議会第2回理事會・定期総会
- 6日(火) 第33回山梨県市町村自治講演会
- 15日(木) 全国市議会議長会第104回評議員会
富士山火山噴火対策砂防事業促進期成同盟会
- 16日(金) 第36回都留市社会福祉大会